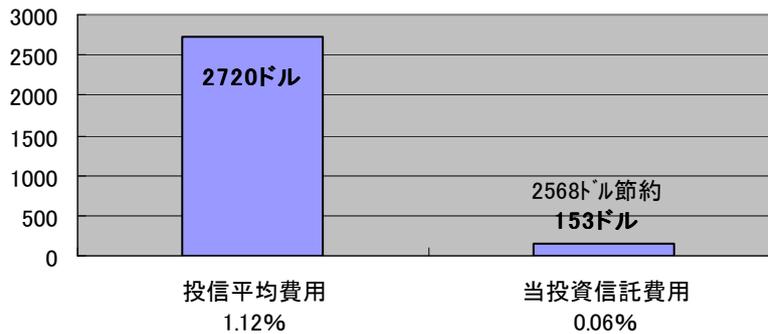


### ATTENTION

## 投信の運用費用の違いが、老後の生活水準を大きく変える。

運用費用の10年累積額  
(1万ドル10年運用のケース)



このグラフは、高コストと低コストの運用費用(信託報酬)が投資額に対してどの程度占めるかを示す、米国最大級の運用会社バンガードのデータです。あまり高いとはいええない1.12%の運用費用でも1万ドルの投資額に対して2720ドルの費用を占めるのですが、運用費用が極めて安い0.06%ではたったの153ドルとのこと。その差は投資額の4分の1強ですから、実に大きいです。このレポートでノーベル賞受賞のウィリアム・シャープ博士が論じているのですが、この差は30年後に1:1.38の富の差になるとのことです。日本で通常の2%の運用費用とこの平均的な1.12%の運用費用で比較しますと、30年後の富の差は、1:1.32、20年後は1:1.2、10年後でも1:1.09とのことです。運用コストの違いが、老後の生活水準を大きく変えるといつてよいでしょう。あまり意識しない運用コストの違いで、生活水準が30%もの違いになるというのですから、まさに人生を大きく変えてしまうちょっとした注意点といえるでしょう。

### OPINION

#### 再び起きた金融商品の元本巨額消失事件

被害を被った人には気の毒ですが、また起きたかというのが実感です。今度は米国の金融業者が日本で個人に売り込んだファンドを巡る事件です。米国の診療報酬債権に投資するという触れ込みで売り込み、円で年6~8.5%の利回りを保証し、実際にしばらくの間その金利分が振り込まれていたとのこと。この金融業者MRIインターナショナルが日本の個人から集めた額は1300億円強、そのほとんどが運用に回されず消失したそうです。この種の事件は残念ながら後を絶ちません。

どうして、こうも簡単にだまされるのか。被害を被った人には厳しい言い方になりますが、金融に無知であったことが先ずあげられるでしょう。この種の事件で重大な事は、特に高齢者が被害に遭うことが多いことです。高齢者→金融無知→だまされやすいというパターンです。若い人は被害にあっても、後々の収入で埋め合わせができますが、高齢者はまさに虎の子のお金で、このお金がないとすぐ生活に困ってしまう人も多いでしょう。非常に社会的に深刻な事件です。

このような被害に遭わないために認識すべきことは、世の中はこういう「騙的な誘い」に満ちているということ、そして何より重要な事は、高利回り保証を謳う金融商品には、最初から近づかないということです。世の中で元本保証で利回り確定の絶対安全の金融商品は、国債の固定金利もの(たとえば10年で0.5%金利)しかありません。「10%にも回るファンドがある」などと極めてまれな実績を持ち出して、さもそれが通常のように見せるセールス文句にも十分注意が必要です。「おいしい話には落とし穴がある。」ということを決して忘れないことです。

### MARKET

	(4月末)	(前月比)
日経平均	13860.86円	+1462.95円
NYダウ	14839.80ドル	+261.26ドル
米ドル	97.20円	+1.56円

### WORDS

#### 今月の言葉:

正義は、正しくあることから由来する数々の善きものを与える。正義は、正義を本当に自分のものとする人々を決して裏切らない。  
-プラトン「国家」

## あなたに合った資産ポートフォリオは、世界で一つしかありません。

日本には、4000もの投資信託があるそうです。どの投資信託も、販売会社や運用機関は非常にいいと宣伝し、新聞などに全面広告で大々的にアピールして、盛んに購入を煽ります。しかし皆さん、考えてみて下さい。あるときはインド株がこれからはいい、ブラジルはオリンピックやサッカー・ワールドカップでインフラ需要がすごいからブラジルファンドだ(ところでその後ブラジルはまったく勢いがなくなってしまう)。新興国債券ファンドは利回りが高い、住宅市場が回復して米国REITファンドはこれからだ、いや、日経平均ノックイン債が高利回りでお勧めなどと証券会社や銀行が勧めてくる商品は、お客様にとって本当にいいのでしょうか。あるいは適した商品なのでしょうか。

いや、決してそうではありません。それは、証券会社や銀行にとって、お客様が買ってくれやすく十分な手数料が入るからいい商品なのだということです。これらを勧められる都度買っていたら、その人の金融資産のポートフォリオはどうなっているでしょう。いわば、ポートフォリオの形をなしていないものになっているでしょう。そもそもその人はポートフォリオという考え方を持たず、証券会社や銀行にいわれるままに買っている状態といつてよいでしょう。また、証券会社や銀行主導で金融商品をもつことになりまので、「上がってくるとすぐ売りましょう。下がったら、もうだめだからいいものに換えましょう。」とそのペースに乗せられ、いわば切った張ったのギャンブルになってしまいます。

ところで、日本株ファンドでもいいファンドは確かにあります。そして、そのファンドの運用会社は「このファンドはいい」というに決まっています。しかし、必ずしも皆さんの資産運用にとって、そのファンドですべての用が足りるということでは決してありません。分散投資の一環で一部の資産種類として組み入れるということです。しかし、そのファンドの運用会社にとっては、「ご資産の一部に組み入れてほしい」とはなかなか言えず、できればたくさん購入してほしいという誘引が働き、説明のしかたもそうなりがちです。

また、ちまたには国際分散投資型のファンドもたくさんあり、これで「すべての用が足りる」ような印象を持ちますが、必ずしも既成の国際分散型(たとえば日本株25%、日本債券25%、外国株25%、外国債券25%)が、皆さんにとって合ったポートフォリオではありません。皆さんに合ったポートフォリオとは、資産状況、年齢、人生目標、リスク度、性格などたくさんの点を考慮して資産配分を決める、まさに「私だけのためのポートフォリオ」なのです。

この資産配分が運用成績の90%を決めるといわれています。それほど資産配分は重要なのです。皆さんが自分や家族の人生目標、性格や資産状況に合ったポートフォリオを作ることがもっとも大切な資産運用法といつてよいでしょう。私ども、びとうファイナンシャルサービスはまさにそのサービスに最大限のエネルギーを投入しています。

## SEMINAR

### 第26回『退職金や金融資産をしっかりと運用するためのセミナー』

#### —こうすればしっかりお金を増やすことができる—

大切な資産運用で、本当のことを知るのはいへんむずかしくなっています。いい情報も危ない情報もあふれ、手数料収入を何とか取り込もうとしてリスクの高い金融商品を売り込む金融機関や証券会社、FX会社、商品先物会社の営業活動はますます激しくなっています。思わぬリスクの高い商品を勧められ、取り返しの被ることも珍しくありません。

- なぜ日本だけに投資してはダメか、海外投資の必要性とメリット。
- 本当に正しい資産運用法の実践法—やり方によって人生の分岐点にも。
- 証券会社や銀行がいう通りにしては、必ず失敗する。
- よい金融商品とはどういうものか。
- 安心してお金の相談をできる場所はどこか。

詳細はホームページをご覧ください。

30年以上の経験と資産運用で頂点のグローバル資格を持つ、金融機関から完全独立のFP・資産運用アドバイザー尾藤峰男だから語れる「セカンドライフを豊かに過ごすための資産運用法」をお話します！

日時 : 2013年5月12日(日)15:00~17:00

場所 : TKP東京駅丸の内会議室ミーティングルームC(日比谷帝劇ビル地下1階)

<http://tkpteigeki.net/access/index.shtml> (最寄り駅:有楽町・日比谷駅)

講師 : 尾藤 峰男 びとうファイナンシャルサービス代表取締役

参加費: 1000円(当日支払い)

申込み方法 : メールまたは電話にて「5月12日セミナー参加希望」として、お名前とご連絡先をお知らせください。

E-メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp) Tel: 03-6721-8386

びとうファイナンシャルサービス 公式HP 毎週3分で、資産運用の成功へ導くメルマガ！ 書評ブログ-平日毎日更新

<http://www.bfsc.jp>

お申し込みは <http://www.bfsc.jp/mailmagazine/>

<http://blog.goo.ne.jp/dreamct-1>

発行者: びとうファイナンシャルサービス株式会社

代表取締役 尾藤峰男

電話: 03-6721-8386

携帯: 090-4934-3121

FAX: 050-3156-1072

電子メール: [info@bfsc.jp](mailto:info@bfsc.jp)